

武蔵野美術大学 美術館・図書館 2018年10月15日(月)―11月10日(土)

[時間] 10:00―18:00 ※土曜日・特別開館日は17:00閉館

[会場] 武蔵野美術大学美術館 展示室2+アトリウム1・2 / 南北地下通路(ガレリア) / 14号館地下ギャラリー

[休館日] 日曜日 / 10月25日(木) / 10月29日(月) ※10月28日(日)・11月4日(日)は特別開館 [入館料無料]

[主催] 武蔵野美術大学 美術館・図書館 [協力] DNP 大日本印刷株式会社 / 有限会社 崑崙企画 <http://mauml.musabi.ac.jp>



MUUM&L

IN A DIVERSITY OF VALUES
長い目でみる

YOSHIHARU SEKINO

関野吉晴 ● ワンダースペース

WANDERSPACE

武蔵野美術大学 美術館・図書館 2018年10月15日(月)―11月10日(土)

【時間】10:00―18:00 ※土曜日・特別開館日は17:00閉館

【会場】武蔵野美術大学美術館 展示室2+アトリウム1・2 / 南北地下通路(ガレリア) / 14号館地下ギャラリー

【休館日】日曜日 / 10月25日(木) / 10月29日(月) ※10月28日(日)・11月4日(日)は特別開館 【入館料無料】

【主催】武蔵野美術大学 美術館・図書館 【協力】DNP 大日本印刷株式会社 / 有限会社 崑崙企画 <http://mauml.musabi.ac.jp>



MUUM&L

MAKING WITH BARE HANDS
いちからつくる

YOSHIHARU SEKINO

関野吉晴 ● ワンダースペース

WANDERSPACE

武蔵野美術大学 美術館・図書館 2018年10月15日(月)—11月10日(土)

[時間] 10:00—18:00 ※土曜日・特別開館日は17:00閉館

[会場] 武蔵野美術大学美術館 展示室2+アトリウム1・2 / 南北地下通路(ガレリア) / 14号館地下ギャラリー

[休館日] 日曜日 / 10月25日(木) / 10月29日(月) ※10月28日(日)・11月4日(日)は特別開館 [入館料無料]

[主催] 武蔵野美術大学 美術館・図書館 [協力] DNP 大日本印刷株式会社 / 有限会社 崑崙企画 <http://mauml.musabi.ac.jp>



MUUM&L

EATING TO LIVE
食べて出す

YOSHIHARU SEKINO

関野吉晴 ● ワンダースペース

WANDERSPACE

武蔵野美術大学 美術館・図書館 2018年10月15日(月)―11月10日(土)

[時間] 10:00―18:00 ※土曜日・特別開館日は17:00閉館

[会場] 武蔵野美術大学美術館 展示室2+アトリウム1・2 / 南北地下通路(ガレリア) / 14号館地下ギャラリー

[休館日] 日曜日 / 10月25日(木) / 10月29日(月) ※10月28日(日)・11月4日(日)は特別開館 [入館料無料]

[主催] 武蔵野美術大学 美術館・図書館 [協力] DNP 大日本印刷株式会社 / 有限会社 崑崙企画 <http://mauml.musabi.ac.jp>



MUUM&L

FACING THE UNSEEN
みえないものに向き合う

YOSHIHARU SEKINO

関野吉晴 ● ワンダースペース

WANDERSPACE

武蔵野美術大学 美術館・図書館 2018年10月15日(月)―11月10日(土)

[時間] 10:00―18:00 ※土曜日・特別開館日は17:00閉館

[会場] 武蔵野美術大学美術館 展示室2+アトリウム1・2 / 南北地下通路(ガレリア) / 14号館地下ギャラリー

[休館日] 日曜日 / 10月25日(木) / 10月29日(月) ※10月28日(日)・11月4日(日)は特別開館 [入館料無料]

[主催] 武蔵野美術大学 美術館・図書館 [協力] DNP 大日本印刷株式会社 / 有限会社 崑崙企画 <http://mauml.musabi.ac.jp>



MMU M&L

RELATION AND MIGRATION
交わり拡がる

YOSHIHARU SEKINO

関野吉晴 ● ワンダースペース

WANDERSPACE



WANDERING ON THE EARTH 地球を這う

密林の奥地に文明社会と接触を持たない人々がいると聞けば、何日でもかけて歩いて訪ねました。密林にインカ遺跡が眠っていると聞けば、数年がかりでしつこく探しまわり、発見しました。アンデスの山頂にインカ遺跡があるらしいと聞けば、わくわくして登りました。アンデスにインカの伝統を守りぬいている村があると聞けば、喜々として通い続けました。パタゴニアに未踏の山があると聞けば、張り切って行ってみました。ギアナ高地に未知の山があると聞けば登り、深い堅穴があると聞けば潜りました。グレートジャーニーが始まる前は、南米をそんなふうの旅し続けてきました。

関野吉晴

関野吉晴(1949-)は、探検家であり写真家、医師であると同時に武蔵野美術大学教授(文化人類学)でもあります。関野は、人類がアフリカから南米大陸まで拡散した5万キロの道のり“グレートジャーニー”を、44歳からの足掛け10年間で、自身の腕力と脚力のみで旅した探検家として広く知られています。22歳で初めてアマゾンを訪れて以降、異文化流入に警戒する民族を訪ねながらも現地ですと家族全員の名付け親となり5世代に渡り交流を続けるなど、一旅人とその旅先の関係性を越え深い親交を結びました。「虫の視点(虫瞰)と虫の眼(複眼)」で地を這うように歩き回る(=wander)、フィールドワークの領域を軽やかに越えた旅を重ねる中で、関野は人類の本質に迫る独自の思考や時間感覚を培っていきます。それは、さながら宇宙(=space)から我々の住む地球を俯瞰したかのような視点ともいえます。2002年には本学教授に着任し、これらの経験に裏打ちされたユニークな授業を行い、表現を志す学生に刺激を与え続けています。

本展では関野の約50年に渡る行動とその視点、思考を探るため、関野の旅の軌跡である写真作品や言葉などを5つのセクションに分けて紹介します。美術館内での縄文号の展示を中心に、関野の旅のように地を這う移動と発見を促す会場構成になっています。関野の実践と人類を本質から捉えた視点に触れる経験を通して、旅という行為を糸口に関野が一貫して私たちに発信してきたこと、そこに通底する想いが鮮やかに浮かび上がることでしょう。その視点から地球全体を考察し、ひいては我々は現代社会をどう生きていくべきなのか、様々な考えを巡らす機会になりましたら幸いです。

【縄文号】砂浜で集めた砂鉄から作った工具で、自然から得た素材のみを使用し造った丸木舟。日本人の祖先が日本列島に至った航路を辿るため、2009年にインドネシアのスラウェシ島を出航。風と潮にまかせ、GPSやコンパスを一切使用せず星と鳥影を頼りに進み、2011年に4700キロ先の石垣島に到達した。

【監修】関野吉晴(本学教養文化・学芸員課程研究室教授)

◎本展イベント

会期中には、レクチャーなど各種イベントを予定しています。
※日時や内容など詳細が決まり次第、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

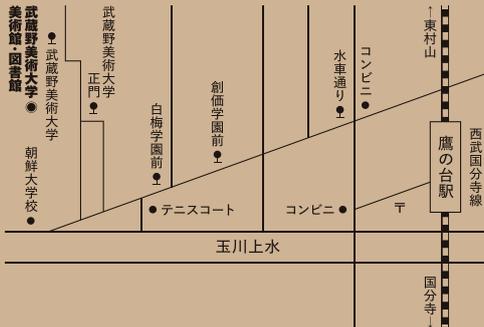
◎関連企画

当館最寄駅である鷹の台駅周辺で、本展に関連する写真を展示する予定です。(企画・運営：関野吉晴)

【武蔵野美術大学 美術館・図書館】

187-8505
東京都小平市小川町1-736
tel: 042-342-6003
http://mauml.musabi.ac.jp

- 西武国分寺線「鷹の台」駅下車、徒歩18分
 - 国分寺駅北口徒歩3分、西武バス「武蔵野美術大学」行きまたは「小平営業所」行きに乗車、「武蔵野美術大学正門」下車(バス所要時間約20分)
 - 立川駅北口(5番乗り場)より立川バス「武蔵野美術大学」行きに乗車、「武蔵野美術大学」下車(バス所要時間約25分)
- ※お車でのご来館はご遠慮ください。



【同時開催展覧会】

- ◎「田中克明プロジェクト型デザイン活動の軌跡」10月15日(月)~11月10日(土)
- ◎「和語表記による和様刊本の源流」11月1日(木)~12月18日(火)◎「東北の木地玩具-遊びと祈りの造形-」10月15日(月)~11月30日(金)



IN A DIVERSITY OF VALUES 長い目でみる

2



MAKING WITH BARE HANDS いちからつくる

3



EATING TO LIVE 食べて出す

4



FACING THE UNSEEN みえないものに向き合う

5



RELATION AND MIGRATION 交わり拡がる

6

- 1 [シベリアの凍結した湾内を犬ぞりでいく関野吉晴] 1998年
 - 2 [白波の中を進む縄文号] 2011年
 - 3 [住まいをつくる民族マチゲング] 1982年
 - 4 [インドネシア・ラマレラ村のクジラ鯨] 2008年
 - 5 [アンデスの巡礼コイユリーテ] 1995年
 - 6 [川を歩いて移動するトウちゃん一家] 1976年
- ※2-6は関野吉晴撮影。